

市交際費の支出状況



令和7年10月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分 累計	0 45	0 107,800
見舞い	今月分 累計	0 0	0 0
御祝	今月分 累計	8 32	32,000 147,900
賛助	今月分 累計	0 2	0 13,284
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接遇	今月分 累計	2 7	6,633 101,373
会費	今月分 累計	0 14	0 71,080
その他	今月分 累計	0 2	0 7,645
合計	今月分 累計	10 102	38,633 449,082

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係

☎0952-75-2115

「二年のしめくくりに人を想う」

あわただしい年の瀬を迎えました。振り返れば、この一年のあいだにも、さまざまな出来事や出会いがありました。喜びの時もあれば、戸惑いや悩み、悲しみの日もありました。そんな時、誰かの言葉や行動にどれほど支えられたことでしょうか。

考えてみると、人権とは特別なことではなく「相手の立場になって考える」「気づいたことをそつと行動にうつす」そうした日々の、人を想う気持ちの中にあるのだと感じます。

12月4日から10日は「人権週間」です。この機会に、自分のまわりの人との関わりを振り返ってみませんか。自分が体験

tomon i kiru

した喜びや困難。そのひとつひとつの中に、誰かに救われた瞬間はなかったでしょうか。それはきっと、相手があなたを「ひとりの大切な人間」として尊重してくれたからこそ、生まれたあたたかさです。人権が守られる社会というのは、特定の人たちだけのものではなく、あなた自身も大切にされ、守られる場所なのです。

新しい年も、互いを想い合う一年にしたいものです。家族や友人、職場や地域の中で、困っている人に声をかける、異なる考え方を受け入れる、感謝の気持ちを言葉にする。そんな小さな行いが誰かにとっての大きな励みになります。「ありがとう」「や」「おつかれさま」のひとことが、心をほつとさせ、互いを認め合う関係を広げていくのではないのでしょうか。

社会教育指導員

野中久美子

歴史をつなぐ多久聖廟の秋祭

11月19日記

香月正則の

市長日記

市長となり緊張することが多く、いつもドキドキな場面がありますが、その一つに創建以来300年以上にわたり受け継がれてきた多久聖廟の秋祭があります。多久聖廟は、1708年（宝永5年）に多久茂文公が孔子像を安置し、領民に「敬」の心を培わせるために建てた孔子廟です。建築様式は、禅宗様仏堂形式と呼ばれる我が国の代表的な建築様式ですが、彫刻や文様は中国的な雰囲気を出し、現在、国指定重要文化財として大切に保全しています。

その伝統行事である秋祭は毎年4月18日（春季）と10月の第4日曜日（秋季）に執り行っており、県の重要無形民俗文化財にも指定されています。儀式を司る献官、祭官・掌儀・賛者・祝者などで孔子像や四人の弟子である顔子、曾子、子思子、孟子の四哲像にお供え物を捧げます。また、雅楽の演奏は市職員が行い、それぞれ中国の明時代



の衣装を纏っています。この儀式で献官は市長が務めることになっており、多くの所作を覚えるために収録された映像を何度も見返し、個人指導も受けました。廟内で酌を洗う、香を焚く、甘酒を供えるなどの多くの所作を通して思ったことは、秋祭は一つの祭事だけと思うのではなく孔子や顔子、曾子、子思子、孟子に思いを馳せるひとときであり、創建以来300年以上続いた歴史の一部になったことを感じました。

多久茂文公がこの地に多久聖廟を建立した意義を踏まえ、市民のみなさんとともに多久市を創っていききたいと思っています。

